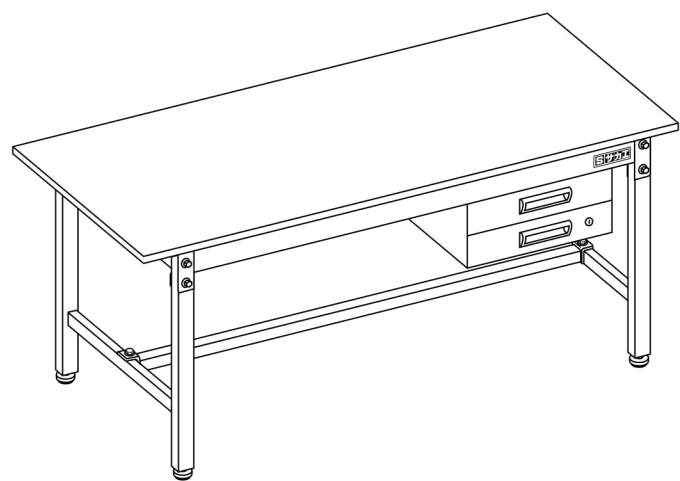


軽量作業台 [CK, CKD, TCK]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げ下さいましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡下さい。



この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

- 天板の等分布耐荷重(天板全面に均等に物を置いた場合)は、
固定タイプ…………… 300kg
移動タイプ…………… 150kg
高さ調整タイプ…………… 200kg
中板の等分布耐荷重(中板1枚に均等に物を置いた場合)は、
…………… 50kg
引出しの等分布耐荷重(引出し全面に均等に物を置いた場合)は、
…………… 30kg
積載荷重は、天板の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
- 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。ゆるんだまま使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
- 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたまま使用しないで下さい。
- キャビネットの引出しはゆっくりと引いて下さい。引出しを強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。
- キャビネットの引出しを引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
- 可動部(キャビネット、キャスター)の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
- この製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。
- 本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
- この製品を移動するときは、載せてある物を全ておろし、天板を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。乱雑に扱くと破損や事故の原因となります。
ただし、引出しのある物は鍵をかけ、鍵のないものについては、引出しを抜いて行って下さい。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

- この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
- 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- ポリエステル合板は比較的衝撃にもろい性質がありますので、衝撃を加えますと損傷の原因となります。
- キャビネットの鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品等は保管しないで下さい。
- キャビネットの鍵を掛けるときは全ての引出しを確実に閉めて下さい。
- キャビネットをご使用になる前に鍵番号等は控えて下さい。
- キャビネットの鍵を紛失した場合は、鍵番号を確認して、購入先を通じてご注文下さい。(有料となります。)
- 消耗部品には寿命があります。可動部などに、異常音等(損耗現象)が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
- アジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

- 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
- 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
- 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

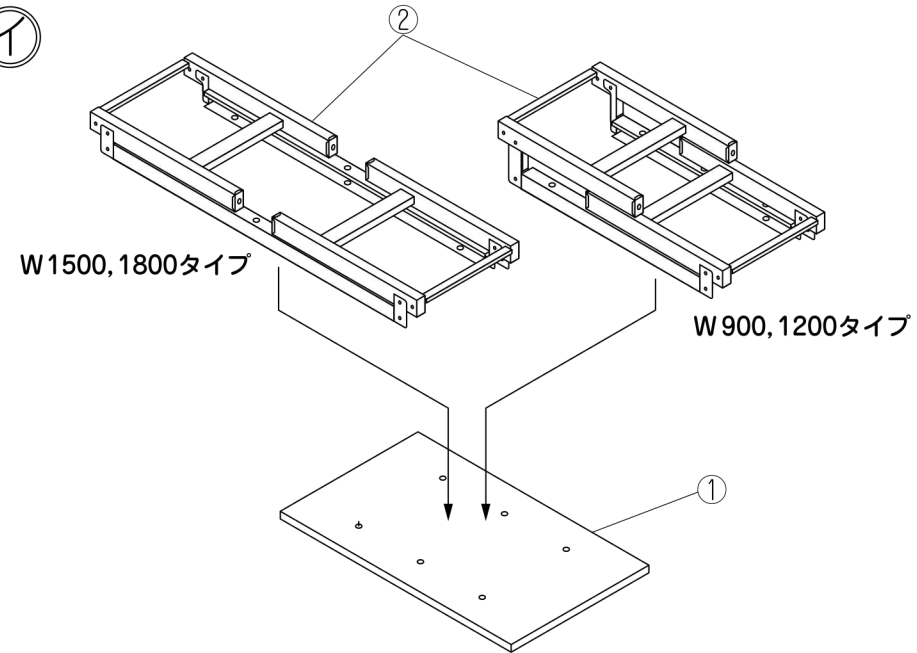
※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。
使用しますと表面材の損傷の原因となります。



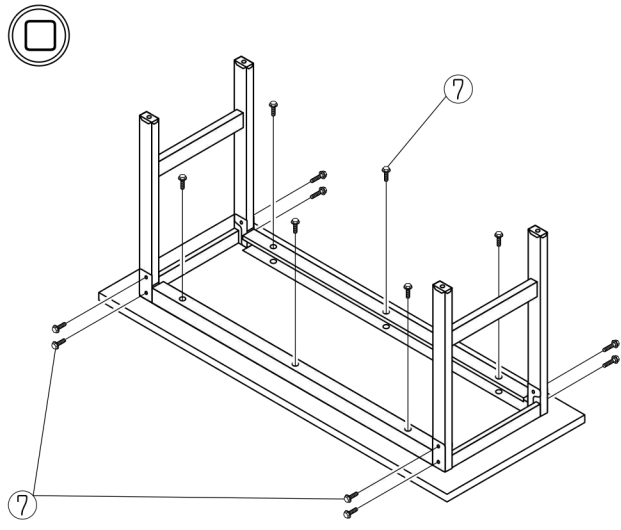
大阪市城東区成育5丁目22-9

フリーダイヤル
お客様相談室 0120-575101

イ



ロ



●組立て方法

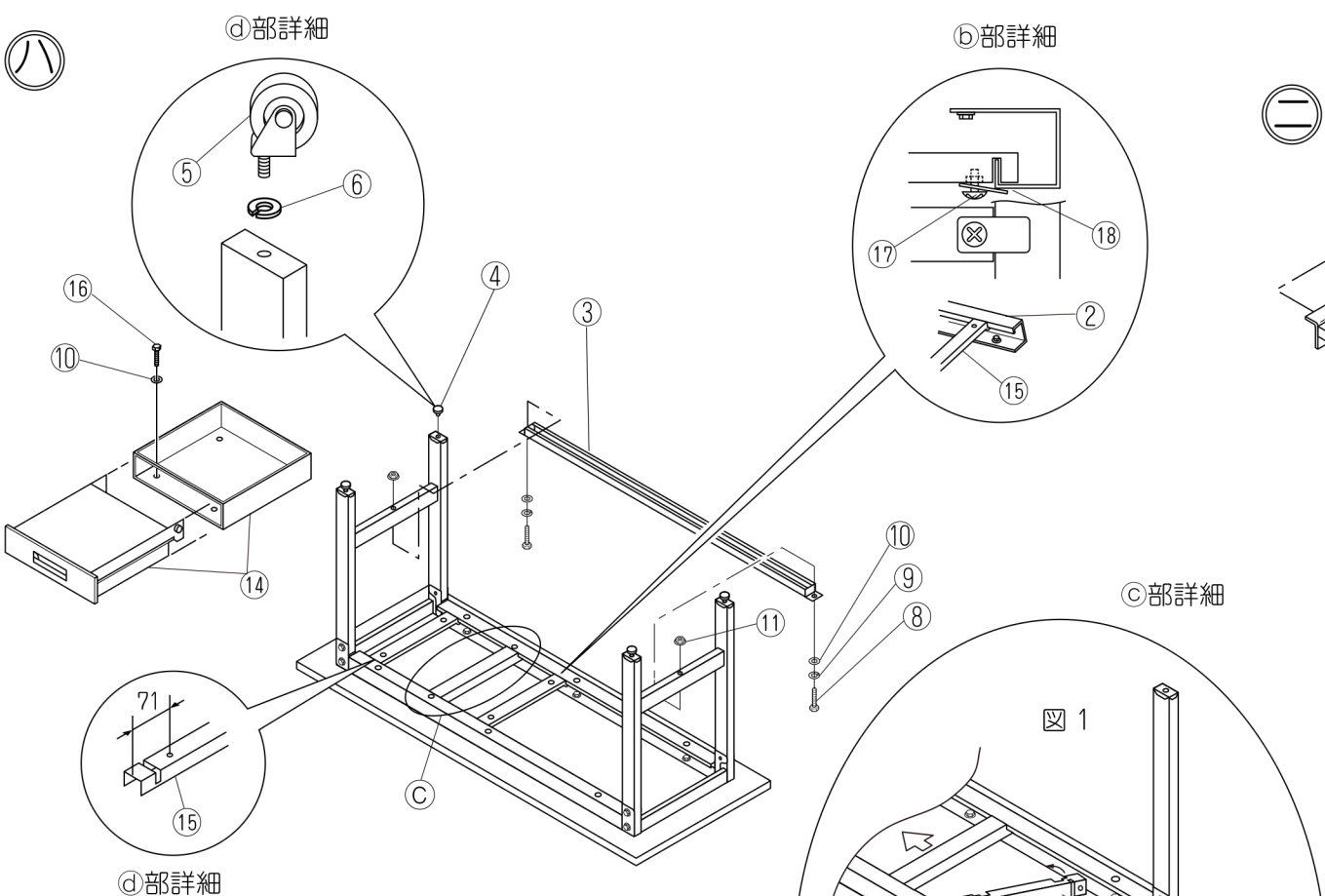
- ① 裏返した天板①の上に本体セット②を置きます。
- ② 脚フレームを片方のみ起こし、図ロのように六角アプセットセムス⑦で仮止めして下さい。そしてもう片方も同じ要領で仮止めして下さい。そして天板①と本体セット②を六角アプセットセムス⑦で6ヶ所、仮止めします。
- ③ カンヌキ③を脚フレームに下から差し込み、六角ボルト⑧、パネ座金⑨、平座金⑩で締め付けて下さい。その後、全部はずれないように本締めして下さい。さらに、脚フレームの先端部にアジャスター④をねじ込んで下さい。キャスター付の場合は、パネ座金⑥を入れてから、キャスター⑤をねじ込んで下さい。(④部詳細)
- ④ 全てを取り付けたら本体を起こして下さい。(中板が付く場合は、中板を脚フレームに上から置いて下さい。)

《キャビネットが付く場合》

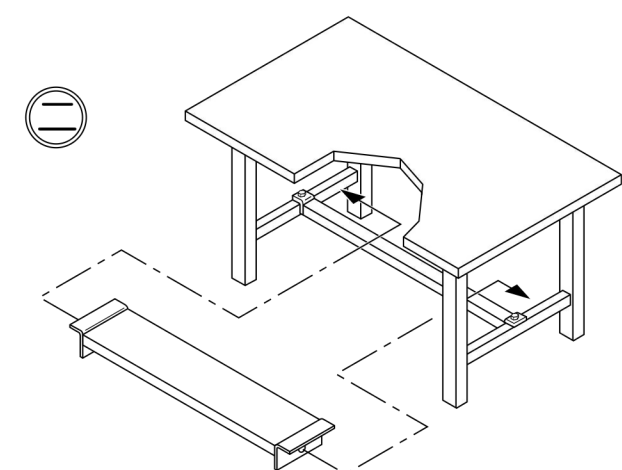
※任意の場所にキャビネット吊金具⑮をセットして下さい。

- A (奥行D600)のタイプ
キャビネット吊金具⑮を図ハのように本体フレームに(④部詳細)合わせて取り付けして下さい。
- B (奥行D750)のタイプ
図Aの様に取り付けた後、キャビネット吊金具⑮の後方(⑥部詳細)にトラス小ネジ⑰、押さえ板⑱で浮き上がり防止を行って下さい。
- C (奥行D900)のタイプ
本体を仮止めの状態で、補強フレーム⑫を天受けビームの間に、図1の様に穴のある面を横に向けて斜めに入れて、それから天受けビームと垂直になるように回転させます。この時、同時にビス穴がある面が上にくるようにします。この状態にしておいてから、全てのネジを本締めして下さい。

ハ



ニ

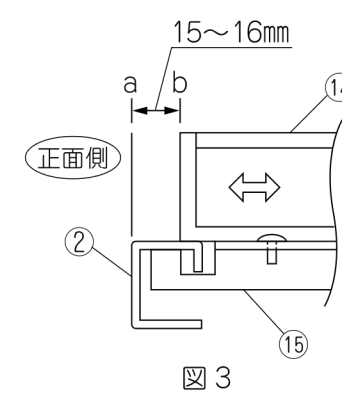


●部品明細

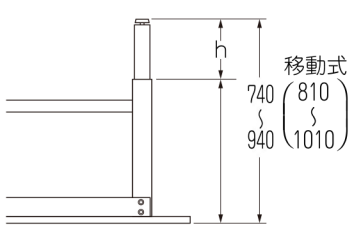
番号	品名	数量
1	天板	1
2	本体	1
3	カンヌキ	1
4	アジャスター	4
5	キャスター	4
6	パネ座金 (M12用)	4
7	六角アプセットセムス (M8×18ℓ)	14
8	六角ボルト (M8×65ℓ)	2
9	パネ座金 (M8用)	2
10	平座金 (M8用)	2 (6)
11	フランジナット (M8用)	2
12	補強フレーム (1800×900天板使用分のみ)	1
13	皿小ネジ (M8×15ℓ) (1800×900天板使用分のみ)	2
14	キャビネット	(1)
15	キャビネット取付金具	(2)
16	六角ボルト (M8×12ℓ)	(4)
17	トラス小ネジ (M8×12ℓ)	(2)
18	押さえ板	(2)

《キャビネットの取付方法》

上記のキャビネット吊金具⑮をセットした後、キャビネット⑭の引出しを抜き裏返して、キャビネット吊金具⑮の上に置き六角ボルト⑮、平座金⑩で仮止めします。その後、取り付けるキャビネットがAのタイプである場合、本体(キャビネット)を図3のaの位置に本体の前面がくるように合わせます。またBのタイプのキャビネットの場合は、bの位置に本体の前面がくるように合わせます。そして、それぞれの位置に合わせたのち、はずれないように本締めして下さい。



<高さ調整タイプについて>



スライド脚には目盛りが刻印されています。0 (最小)の所に合わせますとH740となります。200 (最大)の所に合わせますとH940となります。※移動式の場合は、()内H810(最小)~H1010(最大)となります。目盛りが0~200の間で任意の高さに合わせてご使用できます。

()はキャビネット及び補強フレームを取り付ける場合。

Aタイプ(NKL-11, 22, 32, 33)
Bタイプ(NKL-S10, S20, S30, NKL-10, 20, 30)